

クラ ブ名	NPO法人 習志野バ`イ卜`跡`-ツツフ`	記入 者名	小澤 淳	お肩 書き	クラブマネージャー 事務局長
所 在 地	〒275-0025 千葉県習志野市秋津 3-7-2	連 絡 先	TEL : 047-453-1334 Email: nbs2001@rio. odn.ne.jp	URL	http://www2.odn.ne.jp/nbs/
会員数	名 628	地区人口	約 24,000 人	設立年	2001 年
ク ラ ブ の 特 徴	海を埋め立てて作られた習志野市内では新しい街に作られたクラブである。千葉都民と呼ばれる父親達、比較的新しい感覚を持った母親に育てられた苦労の少ない子供達が、核家族として集合住宅で生活している地域である。その半面入居約30年が過ぎ、独居老人・引きこもり老人の数も増えている。そのためにクラブのコンセプトとして、地域・世代を越えたコミュニケーションの確立を目指した定期活動の実施を心掛けている。				
年間予算規模（平成18年度）	6,600,000 円	年間広報費（平成18年度）	600,000 円		
広報活動の成功例					
<p>小学校・中学校を通じて、生徒へのパンフレット配布（設立5年目） 総合型を理解できていない地域住民に対し、学校から生徒にパンフレットを渡すことによる安心感を親に与えることによりパンフレットを読んでもらうことができ、約1ヶ月の間問い合わせ・入会が続いた。</p> <p>ホームページの公開による会員獲得（設立時～現在に至る） 日本体育協会・千葉県体育協会・千葉県広域スポーツセンター・習志野市役所のホームページからリンクできるようにしたことにより、かなりのアクセスが来ている。特に千葉県内にあまり活動の場所が無い種目（女子サッカー・少年少女バレーボール等）は、市内他学区・市外からの会員を呼び込んでいる。</p> <p>学区内幼稚園に対し、授業の一環としてのサッカー教室を開催（設立3年目） 女子サッカーの種目責任者・指導者にお願いをし、学区内幼稚園に出張サッカー教室に出向いてもらった。幼稚園の授業中にNBSのサッカーコーチが幼稚園児に、サッカーボールを使って遊ばせたり、コーチのパフォーマンスを見せることにより、サッカーへの感心が高くなり入会希望者が増えた。</p> <p>習志野市教育委員会へのアプローチ（設立2年目～現在に至る） NBSの活動を習志野市教育委員会共催事業として認めて貰い、パンフレット・名刺などに習志野市教育委員会共催事業という文字を入れることにより、企業・大学（大学内施設の使用をお願い）などへの営業活動がしやすくなった。</p> <p>地域行事に参加し、ブースを貰うことにより地域住民にアピール（設立時～現在に至る） 香澄夏祭り・秋津秋祭りにキックターゲット・ストラックアウト・輪投げで参加。香澄地区運動会に用具係としてボランティアにてお手伝い。地域の方々が集う場所に積極的に参加することにより、パンフレットの手渡し、声掛けを実施し地域の方々にNBSを理解してもらう。</p> <p>地域新聞への記事の提供（設立5年目～現在に至る） NBSとして参加した大会（女子サッカー千葉県大会・関東大会・全国大会、ソフトバレー市内大会・八千代大会、テニス市内大会等）の結果・出場者・写真付き記事を、ならしの朝日（地方新聞）に提供し、掲出してもらうことにより、朝日新聞を購読している読者にNBSの活動をアピール。また参加した選手も自分の活躍した試合の新聞切り抜きを作成して、楽しんでいる。</p> <p>習志野市街づくり推進課へのアピール（設立6年目） NBSの活動そのものが「街づくり」であり、世代・地域を越えたコミュニケーション作りに寄与できていることをアピールし、できれば街づくり推進課の共催をもらえればと思っています。</p> <p>習志野市健康支援課とのコラボ（設立6年目） NBSの定期活動の場を健康支援課に提供し、NBSの活動地域に住んでいる独居老人・引きこもり老人の方々に声を掛け、健康支援課から転倒防止運動などを教えてくれる指導者を派遣してもらい、お年寄りに経験していただく。始めは会員ではないお年寄り達に集まっていたいただき「お年寄りの居場所」を作る。楽しいな・居心地が良いなと感じたお年寄りには会員になっていただくという試み。お年寄り達の健康一次予防と会員獲得の一挙両得になる。</p> <p>NBSスポーツまつりの実施（1年目～現在に至る） 毎年3月最終日曜日に、地域の方々を対象に「NBSスポーツまつり」を実施。キックターゲット・ストラック</p>					

クアウト・グラウンドゴルフ・パーフェクトサーブ等ターゲット種目に無料で挑戦していただき、パーフェクトを出した方には豪華景品を差し上げるというイベントです。設立1年目は思いつきだけで実施をしてしまったので告知もそれほどできずあまり多くの地域住民の参加は無く、クラブ会員のためのイベントになってしまいました。5年間続けて実施をしてきたので、今では夏の香澄祭り・秋の秋津祭り・春のNBSスポーツまつりと、地域の方々の楽しみに定着したと思われま

広報活動の失敗例

無作為のパンフレット配布（設立1年目～4年目）

第7中学校区約8、800世帯全戸に、NBSのパンフレットをポスティング。お金と時間をかなり掛けての作戦でしたが、お金と時間を掛けた割には反応が薄かった。費用対効果を考えると失敗であった言わざるを得ない状況であった。（運営側の自己満足でしかなかった：何をどれだけ実行したかではなく、何でどれだけの人を集めることができたかで自己診断をしなくてはならない）

単一種目での募集パンフの配布（2年目）

卓球の種目責任者が、もっと卓球をアピールしたいと熱い気持ちで相談に来た。種目責任者の熱意に絆されて卓球だけの募集パンフレットを作成し、秋津地区約2、600世帯にポスティングしたが、14種目全てが載っているパンフレットでも反応があまりない状況なので、単一種目だけのパンフレットでは、より反応が無かった。

音声による勧誘（1年目）

地元市議会議員に選挙カーを借りて7中学区内を回ったが、走行しながらの放送なので具体的なクラブの案内・趣旨説明ができず、クラブ名の連呼しかできず、ただの騒音にしかならなかった。